

## 県外派遣報告書

審判員名	眞榮喜 工	所属	高体連
大会名	平成25年度 男性関東ブロック講習会		
期間	平成25年7月6日(土)・7日(日)		
会場	富士北麓公園体育館(山梨県富士吉田市)		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
7月6日(土)		富士北麓公園体育館	
7月7日(日)	ルールテスト、フィットネステスト、実技審査	富士北麓公園体育館	
実技			
担当試合	期 日	7月7日(日)	男子
	対戦カード	神奈川県立厚木東高校 VS 明星大学	主審 副審
	相手審判	大山 賢史(栃木)	
ミーティング内容		主任 清水 幹治 氏(神奈川)	
<p>オフェンスとディフェンスの関係・位置・距離・角度・実力差・質などを考えたポジショニングを工夫すること。そうすることで、遠い位置からの判定が減り、次のプレイへの対応・備えにも繋がる。審判は2人でやっている。1人では出来ない。相手審判がどこにいて、何を観て、どのように捉え、どのような考えで判定しているのかをもっと観察する。『相手審判が吹くから吹かない(吹く必要がない)』『吹けなかったから、吹く』『おそらく見えないからカバーする』などを考えながら、独りよがりにならない。2人での分担、協力、自分の責任エリア・プレイを判断し、全てのプレイに遅れず、溢さず捉えることを追求していかなければならない。</p>			
全体の感想			
<p>上級審判になる。というのは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・割当が変わる。</li> <li>・責任の重さが変わる。</li> <li>・カテゴリーを越える。</li> <li>・県内のみならず、様々な人と試合を担当する。</li> </ul> <p>ということ。</p> <p>何のカテゴリーの、どのようなレベルの試合でも、誰と担当しても、その試合に対してアジャストし、試合を運営していかなければなりません。</p> <p>今回の講習で、より相手審判との連携・協力の大切さ、それを果たすための状況把握の重要性を感じました。一つのプレイ、ベンチやプレイヤーの意図、戦術理解などの情報収集に加え、パートナーとテーブル・オフィシャル全ての把握、配慮を迫及していきたいと思えます。</p> <p>相手審判、オフィシャルチーム、プレイヤー、ベンチとのコミュニケーションを大切に、皆で良い試合を運営出来る審判を目指します。</p> <p>また昨年、一昨年に比べ、勢いがなくなったというコメントも頂きました。小さくまとまらず、勢い強さを出しつつ、修正点を改善して2次審査に臨みたいと思えます。</p> <p>今回、関東ブロック講習会参加にあたり、県内指導員、山梨県協会、関東ブロックの皆様に変えお世話になりました。この場をお借りして、お礼申し上げます。職場環境、県内行事参加についても御理解、御考慮していただけることに感謝し、埼玉県に恩返ししていきたいと思えます。これからも御指導の程、宜しくお願い致します。</p>			